



交通事故撲滅を願い

～交通安全住民集会を開催～

交通安全部では、交通安全協会古牧支部とともに古牧地区の主要交差点の3か所(9月7日西尾張部交差点、14日東和田交差点、21日上高田北交差点)で「交通安全住民集会」を開催しました。

この住民集会は、平成25年の交通死亡事故をうけて古牧地区から交通死亡事故を撲滅することを目的に開催されているものであります。

西尾張部交差点での住民集会には、市議会議員をはじめ、住民自治協議会の役員、区長、長野中央警察署の警察官、和田交番、長野市の担当課の皆さんが参加しました。

また、年間を通して毎月第一水曜日の朝に、同交差点において「長野市交通安全マナーアップデート」として交通安全街頭啓発活動を行っていますが、そこに参加している三陽中学校の生徒達もそれぞれの会場に多数参加していただきました。



集会では、長野中央警察署の交通第二課のお話の後、のぼり旗を持って歩道内に立ち自動車・自転車の運転手、歩行者の皆さんに交通安全の注意喚起を行いました。

このような取り組みを続けていくことにより、交通安全意識が向上し交通事故防止・交通死亡事故ゼロの活動が推進できればと思います。

(交通安全部)

お知らせ 古牧地区ふるさと文化芸能祭

11月3日(木)文化の日で開催されます「ふるさと文化芸能祭」について、現時点では実施の方向で準備を進めています。開催に際しまして、会場の設営、搬入・搬出、当日の開催方法等については三密を避けて、コロナ感染防止対策を徹底します。

文化芸能祭の開催については、芸能部門は県の感染警戒レベル4以上、展示部門はレベル5以上の場合は中止とします。10月20日現在の感染状況で開催可否を決定します。ご了承ください。(公民館部)

福祉移送サービスのための車両を更新～あいりん号～

古牧地区で行っている福祉移送サービスのための車両「あいりん号」(車いす用リフト付き)が新しくなりました。この車両は、地域たすけあい事業として地域の皆さんの協力をいただきながら歩行困難な方の医療機関への通院のお手伝いをするために運行している車両です。

福祉サービスセンターでは「あいりん号」を運転していただく協力員さんを募集しております。

ボランティア活動になりますに興味のある方はご連絡ください。

☆活動内容

- ・福祉移送(古牧福祉自動車「あいりん号」の運転)
- ・長野市内の医療機関への移送サービス

☆活動時間

- ・あなたの可能な日・時間帯で調整します。(月数回程度です。)

☆資格は必要

- ・年齢や経験は問いませんが、一定の条件があります。

☆問い合わせ

- ・福祉サービスセンター(☎244-5522)です。(福祉サービスセンター)



福祉車両「あいりん号」



車イス用リフト

コロナ禍の中 地域を明るく!!

平林の安達神社の秋季例大祭が9月17日～18日に行われました。第7波のコロナ禍のため、いつもの煙火大会や露店は今年も中止となり寂しさを感じますが、平林街道に面して育成会により子供達が描いた「地口灯籠」が賑やかに飾られました。

春と秋のお祭りには20個程の地口灯籠が掲げられます。以前は当番の組長が描いていましたが、何年か前から育成会の計らいで子供達の力作に変わりました。描く図柄はアニメ等のキャラクターが多いようですが個性を發揮した絵を見ると心が和み明るくなります。

また、今年はこの秋祭りの1週間後の9月24日の夜に安達神社をライトアップしました。当初は23日も行う計画でしたが大雨により中止になりました。これは、公民館役員の皆さんによる初めての企画です。コロナ禍で気持ちもふさがちな中、何か地域を明るくできないかという粋な計らいです。

自前の手作業によるライトアップで派手さはありませんが、素朴な幻影に公民館役員の情熱が感じられる素晴らしい演出だと感動しました。(平林区広報通信員)



安達神社ライトアップ



安達神社秋祭り「地口灯籠」

戦没者追悼法要を開催

古牧地区では、過去の戦争によって犠牲となられた皆様を供養するため、長野市南高田にあります「西光寺」の境内に追悼碑を建立させていただいております。

毎年、9月27日に住民自治協議会、古牧地区遺族会、古牧地区仏教会の皆さんと関係者が参列のもとに「古牧地区全戦没者追悼法要と

非戦の誓い」が開催されており、本年度も追悼法要が執り行われました。
(総務部)



歴史探索

ぐるりわがまち

五分一区

ちなみこう 五分一因講

古牧郷土史研究会 塚田 久直

当区には、親鸞上人の筆とされる掛け軸が伝わっています。「南無阿弥陀仏」の六文字が阿弥陀仏如来の図像にも見えるように書かれた「名体不二」御名号と呼ばれる形式のものです。

因講としてこの掛け軸を掲げ、毎年4月公民館において区内で亡くなった方々の法要が行われています。その際に各家庭の平穩無事

を祈り、その後、僧侶の法話を聴聞しています。

掛け軸は、明治のはじめ、区内の与兵衛さんという信仰心厚い若者が、仕事の帰りに善光寺町のお店に立ち寄った際に「名体不二」の御名号様をみつけ、この掛け軸を譲り受け自宅で仏心を深めていましたが、当時の世話人と協議の上、講中に提供されたものと伝えられています。

因講は、江戸時代に始まったと言われ、農繁期(6月と10月)を除き毎月開かれ、当時の村人たちの心のよりどころとなりました。

明治時代には西本願寺上人から長年の念仏相続を讃えられ、御消息(ご通知)を賜った由緒ある行事です。

現在も、会員制で守り続けており、浄土真宗の二派の流れを汲むお寺を中心に、3班で構成し、講中会員(40名)が順番で法要の運営に当たっています。



古牧地区地域福祉大会を開催します ～みんな健康・元気で幸せに暮らすまちづくり～

コロナ禍のため開催ができませんでした福祉大会を開催します。当日は、新型コロナウイルス感染症対策を行い、健康づくりを中心とした講演、健康・体力チェックを行います。

参加を希望される方はお申込みください。皆さんのご参加をお待ちしております。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況によって中止になることがあります。



- 開催日時 10月30日(日) 9時から13時まで(受付開始 8時30分)
- 会場 長野市古牧体育館(五分一公民館北側)
- 内容
 - 講演 「フレイル予防!ポールウォーキングのすすめ」
 - 講師 日本ポールウォーキング協会名誉会長 安藤 邦彦氏
 〈実技〉日本ポールウォーキングマスターコーチ 脇坂 玲子氏
 - 健康体力チェック(11時～)
- お願い
 - イスがありませんので必要な方は座布団を持参してください
 - マスクを着用してください
 - 運動靴
- 申し込み 古牧ボランティアセンター ☎244-8159 (ボランティアセンター)

娑婆鉛筆

生きていく気力を育む

長野市伊勢宮に長野翔和学園というNPO法人があります。そこは、個々の興味や関心の追求、集団での共創作業といった活動を通じて、コミュニケーションの不安や発達障害、生きづらさを抱える若者達が生きていく気力をつけ、自立し、社会に出ていけるよう教育的支援を行っています。

晩冬、作業見学に行ったときは、集団での共創作業の場でした。長野市小田切において地域交流の場としての「展望広場とあずまや建設」を学生たち自ら計画し、自分たちの力で敷地の整正、基礎工事、木材加工などの作業を地元の方の協力を得ながら

進めていました。教務の方々と共に10代の若者達が個々に役割を持ち、真剣にそして楽しそうに取り組んでいた姿がとても印象的でした。



2022年3月にあずまやが完成し、今年度は、ベンチなど外構部の整備を行うそうです。学生達は作業の成果を目の前にしてきっと自信を持ったことでしょう。これからも自分たちの可能性を伸ばしていてもらいたいと思います。

長野市小田切地区にお出かけの際は、県道406号線沿いにある展望広場で、北アルプスを望みながら一息つかれては如何でしょうか。(峰村 辰郎)

10月から11月までの主な行事実施日のお知らせ → 回覧等でお知らせします。



古牧地区の世帯数と人口

令和4年9月1日現在

11,787世帯

26,495人

(男 13,096人)

女 13,399人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話259-8359・FAX219-1057)
(E-mail:komaki@vivid.ocn.ne.jp)
- 発行者 塩入 茂
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 SR



HP
ご覧ください